

# 赤十字

赤十字の人道活動は皆様方の  
日本赤十字社活動支援費(日赤社費)で行われています

ご協力をお願いします

# NEWS in 徳島

ニュース

第35号

平成28年7月  
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部  
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1  
TEL 088-631-6000  
FAX 088-631-6100  
URL <https://www.tokushima.jrc.or.jp>



日赤熊本県支部災害対策本部

救護班に指示を送る福田靖救急部長(左から3番目)

初動から懸命の救護活動  
すべては被災者のために

4月14日、16日と熊本県を相次いで襲った大地震。

徳島県支部は、本震発生直後の16日から、徳島日赤DMAT(災害派遣医療チーム)や医療救護班を直ちに被災地へ派遣するなど、懸命の救護活動を展開しました。

DMATは菊池市、医療救護班は熊本市中央区で、避難所を巡回して衛生状態や食事の供給状況、避難者の健康状態等をくまなく調査するとともに、高齢者や体調不良を訴える人には「体調はどうですか」「胸が痛いなどはないですか」などと話しかけながら、必要に応じて診察や血圧測定などを実施。

その後も継続して救護班や、このころのケア班を派遣し、震度7を2回観測し甚大な被害が発生した益城町の総合体育館や町内の避難所等で診療を行うとともに、ストレスを抱えて避難生活をしている被災者や不眠不休で活動している現地のスタッフなどのこころのケアにあたりました。

活動を終え、被災地から帰った第2班の徳島赤十字病院 福田靖医師は、「被災地では、まだまだ支援が必要。日本赤十字社として、今後も支援活動を継続し、一人でも多くの被災者の力になりたい」と救護活動への熱意を語りました。

今後も赤十字は、被災地の状況変化に柔軟に対応しながら、常にニーズを把握し、被災された方々に寄り添った支援活動に取り組んでいきます。



毛布1,000枚をトラックに積み込む青年赤十字奉仕団等



手を握りながら、被災者の声に耳を傾け寄り添う当支部の救護員



## ぼうさいクイズ!

おおじしん そな ひじょうよう  
大地震に備えて、非常用  
しょくりょう ようい  
の食料などを用意しておく  
のは、何日分必要でしょうか?

- ① 3日分
- ② 1日分
- ③ 1週間分

ページをめくってこたえをさがそう!!

## 平成28年熊本地震 災害義援金

350,264件 16,995,944,794円  
(日本赤十字社受付分 6月10日現在)

838件 48,321,869円  
(日赤徳島県支部受付分 6月17日現在)

皆様から寄せられました義援金は、被災地の義援金配分委員会を通じて“全額”被災された方々に届けられます。

※受付期間は、平成29年3月31日まで延長されています。

## 被害の状況

(6月7日13:00現在)

震度1以上を観測した回数	1,674回
死者	69名
行方不明者	1名
重軽傷者	1,737名
住家被害	132,209棟
避難所・避難者数 (最大時4月17日時点)	855カ所・183,882人

(政府現地対策本部会議、熊本県災害対策本部会議より)





# 「私たちは、忘れない。」

## 東日本大震災復興5年イベント開催

東日本大震災から5年となる3月11日（金）、当支部は「私たちは、忘れない。」のテーマのもと、徳島赤十字病院と献血ルームアミコで、東日本大震災復興支援・防災啓発イベントを開催。

赤十字病院では、地元の小松島市地区赤十字奉仕団員による「白玉ぜんざい」の炊き出しや、震災発生直後の当支部の医療救護活動等を紹介したパネル展示を



子どもにぜんざいをふるまう小松島市地区赤十字奉仕団員（左）

行い、来院者に震災復興支援を呼びかけました。

また、復興イベントの一環として、被災地応援メッセージ旗への寄せ書きを呼びかけ、イベント終了後に被災3県の日赤県支部を通じて、仮設住宅等へ届けられました。

当支部はこれからも、震災を風化させぬよう、復興支援をはじめとした災害から命を守る防災・減災活動に取り組んでいきます。



被災地への応援メッセージを書き込む来院者

## 阿波銀行創業120周年記念事業 支部赤十字活動の強化へ



飯泉支部長(左)へ柄杓を贈呈する岡田頭取(右)

株式会社阿波銀行（岡田好史頭取）様から、創業120周年を記念して、当支部へラピッドレスポンスカー（医師派遣用自動車）1台と救急法等講習普及車両2台、災害用移動炊飯器40基を寄贈いただきました。

同行は明治29年に創業。地元金融機関としての金融サービスの提供はもとより、経営方針に「地域への貢献」を掲げられ、地域産業の育成や文化振興にも積極的に取り組まれ、本年6月21日をもって

120周年を迎えられました。6月7日に徳島県庁で行われた贈呈式では、岡田頭取が「救急医療や災害時の食の支援にお役立てください」と車両の記念鍵と災害用移動炊飯器の柄杓を飯泉



ラピッドレスポンスカー



災害用移動炊飯器

嘉門支部長へ贈呈。受け取った飯泉支部長は、「県民の命を守る活動に役立てたい」とお礼を述べました。

ラピッドレスポンスカーは、徳島赤十字病院へ配備。救急要請を受けた際に医師等が迅速に救急現場へ急行し、現場到着から救命処置を行うことで救命率の向上を図る救急車両で、県内では初めての配備となります。

一方、救急法等講習普及車両は、年間約240回、1万3千人余りの県民が受講している当支部の心肺蘇生やAEDを中心とした救急法講習等の更なる普及を図るために活用する予定です。

## シリーズ 徳島赤十字病院 第10回 新棟建設起工式

徳島赤十字病院の診療科や最近のトピックスを紹介するシリーズ「徳島赤十字病院」。今回は、平成29年秋の竣工を目指し、4月に着工した新棟建設についてです。

## いよいよスタート！新棟建設

4月21日、支部創立130周年記念事業の一環として、徳島赤十字病院増築棟工事の起工式が行われました。

起工式では、工事関係者や来賓ら20名が出席し、飯泉支部長と日浅芳一院長が「エイッ・エイッ・エイッ」と声をかけながらくわを入れ、工事の安全を祈願しました。

施主の飯泉支部長は「新棟完成を契機に、県民の皆さまに愛され信頼される病院として、本県の医療を先導し発展することを願っている」と挨拶し、続いて日浅院長は「より一層の医療機能分化と連携に努め、住民の皆さまが安心・満足できる地域完結型の医療体制の実現に向け取り組んでいきたい」と述べました。

増築する新棟には、入院治療の外來化の促進を図る日帰り手術センターやがん検査のPET・CTなどが新設される予定です。



新棟完成予想図



くわ入れを行う飯泉支部長(右)と日浅院長(左)

## 有功会総会で、人道紙芝居を披露

徳島県赤十字有功会（古川武弘会長）の平成28年度総会が5月12日、徳島市内で開催されました。

総会では、平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画が審議され、両議案とも原案どおり承認。

その後、平成27年度に有功会の支援で日赤徳島県支部が増刷した赤十字人道紙芝居「ぼんどうのコスモス」板東倅虜収容所と赤十字」を有功会で初めて上演しました。紙芝居を見た会員は、「収容所と赤十字の関係がよく分かった。これから人道博愛の赤十字を支援していきたい。」と話していました。

上演をご希望の際は、当支部までご相談ください。

## ぼうさいクイズ! の答え

正解 ③

長い間支援物資が届かないこともあるので1週間分

以前は3日分と言われていましたが、見直しが行われ、大きな災害では「1週間」になりました。でも家の中に十分な「スペース」を確保することがむずかしいので、食料などは、普段から使っている物と組み合わせると良いでしょう。





青少年赤十字（JRC）は県内の301校が加盟し「気づき、考え、実行する」を合言葉にさまざまな活動を行っています。

## 高校生が、炊き出しや風呂敷リュックなどを学ぶ

青少年赤十字（JRC）に加盟している高等学校9校のJRCメンバー51名が、2月20日、城東高等学校で防災に関する学習会を開催しました。

5年を迎えた東日本大震災を教訓として、改めて災害時に自分たちができることや防災に関する知識と技術を学ぶことを目的として高校生自らが学習会を企画。

災害用の特殊な炊飯袋を使った炊き出しに挑戦したほか、避難の際リュックがない場合に誰もが簡単に作れる「風呂敷リュック」の作り方を学びました。

参加したメンバーは、「震災から学んだことを忘れず、今日の経験を生かしながら、自分達でできることから取り組んでいきたい。」と力強く語っていました。



自分で作った風呂敷リュックを確認しあうJRCメンバー

## アフリカに届け！僕たち、私たちのスニーカー



スニーカーが届けられるまで

青少年赤十字（JRC）加盟校の城ノ内、徳島市立の両高等学校から、JRC活動の一つとして集められたスニーカーが当支部事務局へ寄せられました。

当支部では、裸足や素足に近い状態で生活しているアフリカの子どもたちに、まだ履くことのできるスニーカーを集めて届ける「スマイルアフリカプロジェクト」活動に昨年度から協力しています。

このプロジェクトは、物を大切にする心を醸成するとともに、アフリカの子どもたちの足を守り、安全な生活を支援することを目的としており、JRCの実践目標「国際理解・親善」にもつながる活動です。

両校から寄せられた計83足は、日頃から赤十字活動にご協力いただいている宮本様（県内在住の同プロジェクトサポーター会員）を通じて、アフリカの子どもたちに届けられます。



キョーエイ沖浜店に設置された支援自販機

## 広がる赤十字活動支援自販機

当支部では、赤十字有功会等の協力を得て、赤十字活動支援自動販売機の設置を進めており、平成28年5月末現在、14台の自販機を設置しています。

この自販機は、売上の一部が当支部の活動資金として自動的に寄付され、災害時の救護活動や救急法の普及活動など、いのちと健康、尊厳」を守る赤十字活動に活用されるものです。

自販機の設置をご検討いただける場合は、ぜひ当支部事務局総務課（TEL088-631-6000）までお問い合わせください。

## 年間240回 13,704人受講



救急法	172回	9,980人
水上安全法	6回	624人
健康生活支援講習	19回	915人
幼児安全法	21回	898人
防災啓発プログラム	13回	698人
防災ひろば	9回	589人



高校生に応急手当を教える赤十字救急法指導員(右)

平成27年度

## 赤十字講習会実施状況

## あなたも、赤十字活動支援費にご協力ください

南海トラフ巨大地震等の発生が懸念されている今日、災害救護活動をはじめとする赤十字の人道活動が停滞しないよう、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。ぜひ、この機会に下の振込用紙（振込手数料は無料、金額は任意）で、お近くの阿波銀行、徳島銀行からご協力いただければ幸いです。

※ 赤十字への寄付金は、税法上の優遇措置が適用されます。※ この振込用紙は阿波銀行・徳島銀行の本店・全支店で使用できます。

### ＋赤十字活動支援費領収証

金額	※	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島銀行 加茂名支店			
受取人	日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名	ご依頼人様			
取振店	平成 年 月 日 銀行 支店			
(法人) この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。 (個人) この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく特定寄付金に該当します。				

### ＋振込ご案内

金額	※	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島銀行 加茂名支店			
受取人	日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名・連絡先	〒 - 様 (TEL: - -)			
赤十字寄付金用 上記のとおり払込を取扱いましたからご通知いたします。 平成 年 月 日 銀行 支店 コード番号				

### ＋普通預金入金票 赤十字寄付金

取及び口座番号	阿波銀行 鮎喰支店 (普) 0233304	平成 年 月 日	内 記帳 検印
金額	徳島銀行 加茂名支店 (普) 1756682	現金 円 当座券	
受取人	徳島市庄町3丁目12-1 日本赤十字社徳島県支部	出納印	様
住所・氏名			

● (振込人)

● (取りまとめ店→受取人)

● (取扱店→取りまとめ店)

一 この領収証は大切に保存して下さい。  
二 本票をもって日本赤十字社徳島県支部の領収証とさせていただきます。  
三 右記取りまとめ店の本支店ご利用の場合は手数料免除となります。





# 人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

## 献血→輸血まで



献血バスなどでは



健康な血液を  
いただきます



事故や  
病気に遭ったら



急いで病院へ



輸血で  
血液を  
補充して



元気に退院!おめでとう。

## エバラ健太さん献血ルーム1日所長☆世界献血者デー

6月11日、シンガーソングライターのエバラ健太さんが献血ルームの1日所長に就任しました。これは、6月14日の「世界献血者デー」に先がけたPRイベントで、献血者に感謝し、献血に協力いただけるよう呼びかけたものです。

この日はそごう時計台前のステージにおいて、エバラ所長自身が作詞作曲した徳島県献血推進イメージソング“愛のバトン～Sharing the Love～”などの歌を披露し、観客に献血に対しての思いを伝えました。またトークショーでは、学生ボランティアから献血をしたきっかけを尋ねられると「学生時代のバンド仲間がしていて、カッコいいと思ったから。バンド内で献血ブームになった。」と笑いを交えながら話してくれました。

その後、JR徳島駅前で献血の協力を呼びかけたり、献血ルームで献血協力者に記念品を渡したりと大活躍。

今後も“愛のバトン”を繋げていきますとの言葉をいただき、1日所長の業務を終えられました。



学生ボランティアと笑いを交えたトークショーで盛り上げる1日所長エバラ健太さん

## JRC 高校生が「献血お願いしまーす。」

晴天の3月20日、若者の献血者不足に立ち上がったのはJRC 部員の高校生。自作の看板を手に満面の笑顔で献血の協力を呼びかけました。

事前にセミナーを受け「両親や自分の子どもが輸血できずに苦しむ姿を見たくない」と参加してくれたメンバーも。

「自分たちも18歳になったら献血します」と、力強く話していました。



笑顔で呼びかけるJRCメンバー

## 拝啓、アニメファンの皆さまへ。

5月に徳島市内がアニメ色となった「マチ★アソビ vol.16」。当センターも『初音ミク』のオリジナルクリアファイルを記念品とする献血を実施することで当イベントに参加しました。

会場にはコスプレイヤーやキャラクターTシャツを着たアニメファンを中心に30人近くが列をなす場面も。連日約200名の献血者に恵まれ、過去最多の協力をいただきました。

次回は10月のアニメの祭典でお待ちしています。



コスプレイヤーに献血依頼する職員と学生献血ボランティア

## ちょこっとNEWS

### 献血者の声ノート

献血ルームアミコでは、献血者からの言葉を患者さんやその家族に届けるためのノートを置いています。

皆さんの温かい思いを綴ってみてください。



### ラジオ番組で献血情報

- エフエム徳島(80.7MHz)  
☆番組名:MORNING LIVE Compass  
☆放送日時:毎週月曜日8:50頃
  - エフエムびざん(79.1MHz)  
☆番組名:ドレミファ曽谷のどどんがドン♪  
☆放送日時:毎週金曜日14:30頃
- 献血豆知識や職員のプライベートな話なども…。ぜひお聞きください♪



## 献血ルームアミコ キャンペーン情報 実施中

### 平日午後は ペアシートで献血

平日の午後(14:00～)から2人で献血に来ていただいた方に、ポラロイドカメラで写した写真を記念にプレゼント!  
家族と?友達と?それとも恋人と???

※けんけつちゃんの耳をつけて写真撮影できます。



### 高校生限定! うまい400mL献血

高校生の皆さん、うまい〇は好きですかー!  
献血できたら5本プレゼント!2回目はさらに倍!!  
ぜひ友達と一緒に献血ルームでご協力をお願いします。



## ホームページ公開中!

徳島県赤十字血液センター

検索



## Facebookはじめました。 最新情報どしどし掲載中!



<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します>

・日本赤十字社徳島県支部事務局  
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター  
・徳島赤十字障がい者支援施設ひのみね

徳島市庄町3丁目12-1  
小松島市中田町新開4-1  
同上

TEL:088-631-6000  
TEL:0885-32-0903  
同上

・徳島赤十字乳児院  
・徳島赤十字病院  
・徳島県赤十字血液センター

同上  
同上  
同上

・徳島赤十字乳児院  
・徳島赤十字病院  
・徳島県赤十字血液センター

同上  
同上  
同上

小松島市中田町新開2-2  
小松島市小松島町字井利ノ口103  
徳島市庄町3丁目12-1

TEL:0885-32-0555  
TEL:0885-32-2555  
TEL:088-631-3200

TEL:0885-32-0555  
TEL:0885-32-2555  
TEL:088-631-3200

TEL:0885-32-0555  
TEL:0885-32-2555  
TEL:088-631-3200

TEL:0885-32-0555  
TEL:0885-32-2555  
TEL:088-631-3200

TEL:0885-32-0555  
TEL:0885-32-2555  
TEL:088-631-3200

TEL:0885-32-0555  
TEL:0885-32-2555  
TEL:088-631-3200